

女が動くとき日本が変わる

心あるミニ政党は大同団結を…………… 2

AGORAZIN 身近になった参院選…………… 3

—— 斉藤さんの出馬問題をめぐって ——

池田千鶴子・石黒真貴子・大島ふさ子・桑原ちえ子
斉藤千代・竹内金子・寺沢恵美子

立候補して流れを変えます…………… 16

金住典子・日下部禮代子・久保田真苗

駒尺喜美・清水澄子・堂本暁子

参院選比例区に挑戦！

草の根ミニ政党の運動スポット…………… 19

山口みつ子さんが語る ㊤ 大作戦

表紙・野原まさこ



今月の編集は〈あこら新宿〉 142号 400円





心あるミニ政党は大同団結してほしい

斎藤 千代

参議院選が近づいた。保革逆転が期待されているが、選挙上手の保守のこと。ゆめゆめ油断はできない。

今度の特徴の一つとして、ミニ政党の乱立がある。「もうだまっではいられない」庶民の憤りかと思っていたが今回、思いがけないことからそれらの実態に近づいて、顎然とした。いかにも環境問題を思わせる党派名、公約のトップに「女性差別撤廃」掲げるミニ政党の中に、極右で知られる団体があることがわかった。この原稿を書いている今も、その党派が、耳ざわりのよい呼びかけで宣伝カーを走らせている。善良な市民の頭に、いつのまにかその名が記憶されてしまうだろう。

市民の志を掲げたミニ政党の中には、女たちの日常活動を積み上げたものも少なくない。たとえば〈原発イライナ〉は、投票用紙に「原発イライナイ」と書かせるのが狙いだという。何というすばらしい市民の知恵だろうと感心する。しかしそれぞれがバラバラで戦えば、ほくそえむのは誰だろう。

自民党の選挙通が、「今度はミニ政党が七、団結すれば十数議席」と言ったと、ある政治記者に聞いた。七なら「遠くの蚊」だが、十数人となれば「大きな脅威」になるだろう。

積み上げたそれぞれの人の思いは痛いほどわかるが、ここで大同団結はできないのか。運動を積み上げて来た草の根の女たちからその声が上がれば、不可能も可能となるかもしれない。

ドキホーテとしりつつ、私は「ポスターキャンペーン」を始めた。このポスターは、「市川房枝さんのようなクリーン選挙で金権政治を追放しよう」と思う人にしか手渡さない。せめて、このポスターを掲げた政党は、心ある党と知ってもらうためである。

〈あごら〉の会員にも、さまざまな立場の人がいるが、たとえば〈あごら〉を共通項にしながら、大同団結に向けて動けないものだろうか。

もう時間がない。明日と言わず、今日にでも立ち上がらなくては。

身近になった参院選



— 斉藤さんの出馬問題をめぐって —

池田千鶴子・石黒真貴子・大島ふさ子・桑原ちあ子

斉藤千代・竹内全子・寺沢恵美子

スワ! "フェミニスト党"誕生

斉藤 〈あごろ新宿〉が、「女と政治」で何かやらなくちゃ、になった直接のきっかけは、5月12日の例の女性内閣の会ね。あのあとみんなで飲んで、「あれだけ盛り上がったエネルギーを吸収する場がない」という話になって……。

寺沢 受け皿がないし、仕掛け花火みたいに終わってしまうんじゃないかって。男性の佐藤さんなんか「あれでは男にとってちっとも脅威じゃない」って。

斉藤 その前から寺沢さん、「女が政治を」って、アメリカの話をしていたじゃない。

寺沢 一昨年、ニューヨーク市立大学政治学のジョイス・ゲルブ教授が〈あごろ〉にいらして、「政治が変わらなければ何も変わらない。日本の女は何をしているのか。〈あごろ〉は何をしているのか」って、盛んにおっしゃった。「政治の舞台に出て行こうとしない。なぜなのか理解

に苦しむ」って。

斉藤 私は天皇の一斉報道で、これはもう何とかしなくちゃ、と一月九日に女性ジャーナリストの方々に集まって頂いて「天皇報道に驚く」緊急AGORAZEINを開いたわけ。あの席で「女性党を」という話が出て、具体的に動かなくては、と思いが、秒読みの毎日で動けなかった。どこかが立ち上がってくれるだろうという気持ちもあって……。でも、どこも動こうとしないので、〈あごろ〉が接着剤になって動かなくて、と、五月十八日の自治省の政党届け出の説明会に石黒さんに出て頂いた。それを受けた五月十九日の例会で、難しいけど、努力するだけ努力しようということになった。

で、土日をつぶして動こうと、二十日の朝、出かけようとしたとき、駒尺さんから突然電話を受けた。「エコロジストと手を結んでフェミニスト党つくろうって話がある。四千万円の供託金は山本コウタローが出してくれる。チャンスだからぜひ立候補してくれ」って。寝耳に水

とはこのことで呆然としたけれど、女性党の件でまさにでかけようとしていた時だったので、何か運命的な気もして、まず市川房枝記念会の山口みつ子さんをお訪ねしたわけ。私の頭の中には、「市川房枝の志を継ぐ女たちの会」みたいな構想がずーっとあったし、山口さんが動けばまとまるだろうと。道々歩きながら考えたのだけど、石黒さんに聞いた、十八日のミニ政党をつくるための説明会の話では、今からではかなり絶望的だし、女が二つの会をつくるよりは、駒尺さんの話に集結したほうがいい。ただ、フェミニストだけでは弱い。主婦連、地婦連あたりも巻き込めるような（おんな党）になれないかなアって。

消費税、リクルートと、これだけひどい話になった元は三百議席。ほんとに愚かなことだけど、こんなふうになっただけで、私は市川さんが言い続けていらした「金権政治打倒」ということが胸に落ちた。私はずーっと政治きらいで、市川さんの熱意やエネルギーには感嘆し

ながらも、「あれは女権拡張運動」みたいな感じで、投票したり間接的な支え方はしても、その運動に飛び込む気持ちはなかった。先生が口ぐせのようにおっしゃっていらした「権利の上に眠るな」ということばも、観念的には理解していても、からだにバシッとひびく受け取め方はしていなかった。それがガンとからだじゅうに鳴りひびく感じで、やっと理解できたのね。金権政治とは特権政治、男権政治、これこそ差別と人権抑圧の温床だと。「権利の上に眠るな」の「権利」は参政権。それを今、女たちが持っているのに、行使しなかったり、権力の側で一票を投じるようなことは決してしないではいい、ということ。その権利獲得までの長い長い道のり、はかりしれないほどの汗と涙を、知ってるつもりで知らなかったなアと。

ひとのことばが、二十年も経て胸に届くということもあるのね。私の世代でさえも、女の運動をするとかだけ石を投げられたかわからない。先人の苦勞は想

像のつかぬものがあつたらう。市川さんに申しわけないことをした、という気持ちでいっぱいになった。もしも市川さんのことばをからだの真芯で受けとめるだけの感性が私にあつたら、どんなに好まないとはいえ、「女の一票」の運動を、もっと真剣にやっていたらう。三百議席は私たちの怠慢の象徴だったと。

遅すぎる反省だけど、そのための（おんな党）を……。

山口さんはこの話に、「たしかに今くらなければ二十年はむりでしょう」「市川が生きていたらきつと何か仕掛けたと思いますね」とおっしゃって、ご自分分は、動くことはできないけれども、選挙のノウハウは知っているかぎりお伝えしましょう、と約束して下さった。うれしかったですねえ。

池田 それで動き出した……。

斉藤 ええ。あちこち交渉を始めたところに駒尺さんからまたお電話があつた。「主婦連の人まで組み込んでもいい？」って聞いたら、すぐコウタローさんに聞

い合わせてくださって、「いいって。将来〈おんな党〉になってもいいくらいのは気持ちがある」というお返事だった。

池田 そのへんからだんだんのってきたわけですね。

斉藤 駒尺さんのくどき方が、また絶妙な。「地方区じゃないし比例区だから何もなくてもいい。選挙公報に書くことと、テレビにちょっと出るだけよ。こんなチャンスはまたないんだから、ま、軽いノリで……」(笑)。

私は駒尺さんが大好きだし、お祭り大好き人間だから、太鼓がどんな鳴り出すと心が騒ぐ。何よりも夢に見たフェミニスト党！選挙公報に何か書けるというのもノドから手が出そうな話。国費でフェミニズムを訴えられるなんて！

そうは言っても、私にとっては、選挙は女の問題のキャンペーンの場、公報のほかは何もしない。ですむはずがない。とすれば周囲に及ぶ迷惑の数々……。

迷う心に駒尺コールは数度に及び、と

うとう最後に「十八番ならいい。黒衣(くろこ)なら十八番(おはこ)だから」と言ってしまったわけ。

池田 そして五月二十六日の臨時例会になったんですね。

斉藤 私は、私でなく「若い人」と願ったのに、次々に断られ、女の人が立つことの難しさを思い知らされて、どうしても立つ人がないのなら……と、次第に義侠心(?)も湧いて来たけど、事務局に大変な負担がかかることはみえみえだし、身内の者も、「健康が心配。性格的にも黒衣のほうがずっと合っている」と心痛するし……。

桑原 二十六日は、事務局の方から「斉藤さんが立つほかにないんじゃない。半年一年の長丁場なら大変だけど、ひと月やそこらなら、外国にでも行ったと思って頑張る」という声が出て、それから、しまさんやら池田さんやら私がすすめだしたんですよね、たしか。

斉藤 誰よりも「困る」と言うと思っていた事務局の人たちがすすめたのは、す

ごく意外だったし、とてもうれしかった。「燃えるものを持って結集したい」とか、「みんなにとって政治が身近になる」という意見も出ましたね。それだけに、あの時みんなの前ではっきりと、「もし立つということになったら、それはたとえ〇・五%でも、私自身立ちたい気持ちがあるからで、みんながすすめたから立ちました、みたいな言い方は決してしない」と言いました。秘書が、妻が、式の責任転嫁は絶対にしたくなかった。それを「決意表明」と受けとめた人もいたことを後になって知って驚いたけど……。

桑原 私は、ああ、斉藤さんはあいう言い方で自分を追い込もうとしてるんだなァと思ったけど、決心したとは思わなかった。

斉藤 決心するのには、それは時間がかかりますよ。(あごろ)は、メンバーの個人を決して拘束しないグループだけど、相談もしないで、いきなり新聞に名前が出るようなことだけはしたくなかった。

みんなにはかる必要があったの？

大島 今度の話は斉藤さん個人に持ちかけられた話なのだから、斉藤さんが処理すればよかったと思う。全国の会員が、「なぜ相談もしないで出たか」と言ったときにはじめて、「私は個人として出た（あごろ）を引きずってたけど、それを断ち切って出たんだ」と言えば、かえってみんな気がラクだったのに。

斉藤 なるほどね。ただ、私としては、人の意見を聞く、というのは、とても大切なことのように思えたし、このことをきっかけに、今度の選挙がみんなにとって、身近なものになるかもしれない、という気持ちもあったの。

応援団までは、私がどれほど（あごろ）の垢にまみれていようと、個人として出て少しもおかしくなかったから、いろんな反作用も覚悟の上で引き受けました。

池田 反作用ってどういうことですか。

斉藤 たとえば、コウタローとなぜ手を組むのか、彼は女を利用しようとしてるだけじゃないのか、とか、社会党の女性票を失うことに加担するのか、とか……

コウタローさんについて言えば、私はわずか十日あまりのつきあいだけど、個人としてとても誠実な人だと思っただし、吉田真由美さんとのカップルも、いかにもフェミニストらしいなあ、と、好感を持ちました。環境諸派からずいぶん彼に働きかけがあったみたいだし、後になって考えると、彼は環境派から出たほうがトクだったかな、と思うけど、彼が言ったということば、「フェミニストは例外なくエコロジストだけど、エコロジストは必ずしもフェミニストじゃない。だからぼくはフェミニストと組みたい」にも共感しました。だから、そんなことで非難を受けても、自分としては動じない自信はありました。

社会党とのことは、「土井さんが困ると、ずいぶん言われた。電話で長時間、怒った人もいます。でも、見解の相違で

しょうが、私は、「支持政党なし」を吸収するパイプがなければ、それこそ「土井さんが困る」と思った。自治体の首長選で、平気で自公民と組む神経は、私には許せなかったし、組む相手としての市民連合なり女連合が強くなることこそ、革新政党の力になる、と思っていたから、何かをする、ということとは、何にしても八方美人ではいられなくなることでしょう。だから、そういう非難を受けることは覚悟の上だけど、自分が動くことが、思いもかけぬ乱気流を巻き起こす可能性があることが、今度はじめてわかった。そこは慎重にしたかったし、事後承諾という形にはしたくなかったんです。

池田 私が桑原さんと連絡をとって各拠点への相談文を書き、発送したわけですが、斉藤さんはずっと迷ってました。相談をなさりたいんだな、と思ったのです。何かを決めるとき、相談して行くことが基本だと、私は仕事を通して学んできました。相談するからこそ手まもかかると、ギクシャクすることもある。一度

決めたことが、途中で変わるということもあるけれど、これが大事だと思う。拠

点に出した手紙もその必要線土というか、斉藤さんがずっと活動してきて、拠点に許可を求めるとか、全体の共通理解を得

られなければ出られないと思ったということではなく、相談しなかった、長年活動を共にしてきた仲間に頼ったんだと思うんです。頼った、という言い方はヘンかもしれないけど。

斉藤 そうです。頼ったんです。ほんとに！

極限状況の中で見えたもの

斉藤 それからご承知のような結果で先方をあまりお待たせしてもいけないので、五日に辞退を申し出ました。そのあとに届いた各拠点からのご意見を、いま読んだのだけど、いかにも「あごろ」らしい多様な意見が率直に出ていて、とてもうれしかった。「あごろ」は決して同心円のじゃない健康なグループだなァと。

寺沢 それぞれ正直にちゃんと書かれてて……。

桑原 「あごろ」にはほんとにいろんな立場の人がいるんだというのがよくわかりましたね（一同うなずく）。

寺沢 斉藤さんが出る決心を固めてこれを出したと思うんだけど、これを読んで斉藤さんご自身はどうなんですか。反対もあり賛成もあり保留もあるけど。

斉藤 うーん……。何が何でも絶対反対という強い反対があり、その反対理由を私自身なるほどと納得したら思い止まつたでしょうね。ただ、出るのは個人の問題で、個人の行動について「あごろ」というグループが拘束するのはおかしいと思っていました。「あごろ」は、ゆるやかな方向性^①は打ち出しているけど、規則や規約は一度も設けていない。これは大きな特徴だと思うし、大切にしていきたいので。

私は、最後まで、何が何でも出るという決心はできなかった。それができたら、あんなには苦しまなかった。でも出て

よいという気持ちは次第に深まっていったので、もう一度、昔から中心になって来た方々にご相談したら、二つの意見が出た。それで皆さんにまたご相談した。その結果が、池田さんからのお手紙になったと思う。

その間、私は、ほとんど精神の破綻状態になるくらい苦しんだ。ジェット機の機体に穴があいて、その穴から外に吸い出されるような感じで、頭は痛みっ放し。周りの皆さんにどれほどご迷惑をおかけしたことが……。ほんとうにごめんなさい。

竹内 私たちまで毎日バッファリンがはなせなかったものね（爆笑）。

池田 判断がつかかねてたのですね。

斉藤 うーん……。向こうの状況も一回参加することに刻々に変わるし。記者会見の前々日あたりからは、何が何でも記者会見には「候補者」として臨んでほしい、と強く言われてね。「お前が必要だ」と言われると、やっぱり飛び降りようかな、と思うでしょう。だけど、ほんとに

私か必要なのだろうか、私でなければならぬのだろうか。受け入れの母体も、私の日常活動とほんとに一致するのだろうか、この行動だけが政治にかかわることなのか、とか、ありとあらゆることを考えて、脳細胞が半分くらい壊死したような気がしました。

この二十日間に十年が過ぎたのではと思うくらい、今までの生涯で一度も経験したことのない重い経験でした。

でも、その中で、いま日本のフェミニズム運動がどのへんを流れ、その流れのどのあたりに〈あごら〉が立っているかが鮮かに見えたような気がする。私自身はどこに立ち、何をしようとしているかささまざまな現実の投影として一瞬のうちにピカッと見えた気がした。それは十年分の収穫だったと思うし、声をかけて下さった駒尺さんにも、迎え入れようとして下さった〈ちきゅうクラブ〉にも、ほんとに感謝しているの。でも、二十日間に十年が走りすぎたような感じだったから、周りの人たちは目が回る思いでどん

なに大変だったことか。どんなにおわびをしても足りない。

池田 いま現在の日本のフェミニズムの流れのありよう、そしてその流れのどこに〈あごら〉や斉藤さんが位置しているかがピカッと見えたというのは、すごいと思う。このあたりのことを、今後、ぜひお聞きしたいと思います。

斉藤 責任重大ですね(笑)。

収穫の一つは、いろんな人をくどいて、その反応からいろんなことを学んだこと。女の人が選挙に出るなんて、ほんとに大変なことなのね。自立している女の人はいろんな意味で男より身軽だと思われているけど、大変なことが山ほどあることがわかった。

そして、政治が、普通の人にとって今は、^負の世界だということもよくわかった。だから、普通の人がそこに入るのは、まるで黄泉国(よみのくに)にも入るような覚悟がいるのね。

それにもかかわらず、「フェミニスト党ができてネ」と言うのと、みんな一度は

ワッとのとってくる。どの政党からもうゆる「いい玉」と思われるような人でも動く。各党がもっと早くから女の人をたくさん入れ、入れることによって党の体質を変えていたら、日本の政治は、もっと変わっていったらう。議員や委員会のメンバーの半数は女性にすることを法律的に義務づけられたらなァと、しみじみ思いましたね。

そういう意味で、新しい受け皿としての〈ちきゅうクラブ〉の基礎づくりに積極的に乗り込んだ駒尺さんの大英断というが大英知には、ただただ敬服するし、クラブがまだフェミニスト党として完熟していない部分に悩み苦しみながらも、そこに踏みとどまって理想を育てようとする金住さんの誠実さにも心を打たれました。内心のかつとうを繰り返しながら、私が、最後まで後ろ髪を引かれる思いを断ち切れなかったのは、できることなら一緒にやりたい気持ちが強かったからでしょう。

でも、彼女たちが頑張っていれば安心。

それよりは、未来に向けて、声を出さない庶民の声を吸い上げながら、「選挙は候補者が金を出すのでなく、有権者が金を出すもの」という習慣への一步を、ドンキホーテと知りつつ試みたいと、最終的に決心したのは、心のどこかで、やっぱり市川さんの種を育てたいという思いが一番強かったからだろうと思います。

女の人たちのことばを吸い上げる「ことば集」と「ポスターづくり」に私は力を注ぎたいと思っているの。絵を描くこと、詩や短文に思いを託すことも、政治参加だと思う。(あごろ)で言い続けている「病床からでも参加できる運動」がほんとに実現したら、流れが変わるんじゃないかと……

候補者が大金を出して作ったポスターを貼るんじゃないくて、一枚のハガキでも自分で書いて送る。みんながそれを実行するとき、金権政治は終わる——というのは幻想にすぎないかもしれないけれど、何もしないで黙視しているよりは、次の行動につながるんじゃないかしら。

直接的な国政参加だけでいいの

池田 国会議員の半数とか何%とかを女性にするっていうの、制度として決まったとしても、ある面で制度でしかあり得ないんじゃないかってことを思うんですね。

斉藤 どうして？

池田 というのは、敗戦後民主主義が大事と言われて社会がつくられてきましたよね。でも、社会教育の仕事をしていて感じるんだけど、天皇制に象徴されるような保守的な意識というあんまりに民主主義という薄皮がかぶっているだけのようない気がする。民主主義とか平等とかってことは日常的に使うんだけど、女性問題の学習を続けるなかで、女性同士でも対等に取り組むとか物事を決めていくっていうのが難しいという状況が一樣にあることが見えてきたんです。女性問題を「女性の発達」という視点から切り込んで行った場合に、女だから、という育

てられ方をしてきたために自分の中にさまざまな能力を育てて来そびれたという問題が浮かび上がってくる。こういう女性一人ひとりの意識の問題を女性に共通する課題としていっしょに乗りこえていって女性問題を解決していくのと、問題は自分の外にあるととらえて、制度なんかが変われば男女平等になると考えていくのでは方向が全くちがうと思う。

私は制度を変えることを否定する気持ちは全然ないんだけど、考え方や意識を自分たちのものにしていくことこそ大事だから、斉藤さんが提唱されるような文化運動みたいなことに力を入れていくことが必要だなと思う。それを一緒にどうやっていけるかなアというのがある。でも文化運動って、どうやっていくか、方法がすごく難しいですよ。フェミニズムの運動はいろいろありますが、グループのメンバー一人ひとりが集団の中で自分を見直し、グループの関係を確かにしていくようなことは忘れられがちなのに思います。こういうことを(あごろ)

では忘れないようにしたいし、ポスターづくり、はそのための貴重な行動かなと思つのですけど。

寺沢 でも、最終的には制度を変えていく、そのための文化運動であつてね、制度が変わらなければ何も変わらない。文化運動で意識が変われば政治も変わるつて言つんですか？

池田 文化運動も一緒にやっていかなくちや、と私は思つんです。均等法でも同じような批判がありますよね。

寺沢 文化運動の最終目的も政治を変える、制度を変える……つてことね。

池田 そう。そう。意識とともに制度を変えるつてこと。棚ボタは絶対身につかないし。

斎藤 池田さんが提起された法制度の改革と意識変革の関連の問題ね、今度、限界状況に立たされて、にわかに試験勉強するようにいろいろ考えたんだけど、優生保護法とか均等法とかずっとやって来て、その結果、やっぱり何らかの形で政治にかかわるほかないというのが私は結

論になったの。

自分がもしも議員になったとき何ができるか考えてみると、理想的な新しい法律の立法とか、堕胎罪や優生保護法の廃絶とか、均等法の抜け穴部分の改革とかももちろんだけど、まずは悪い法律が出来そうになったとき阻止することはできると思った。優生保護法にしても消費税にしても、悪い法律がつくられたために、打ち破るのにもすごいエネルギーをつかってきたわけでしょう。少なくとも、そういう悪法の発生を予防することはできる。そのためには女の議員——女に限らず女や人権の問題を理解できる人が過半数を占めなくては……と。それと同時に、池田さんが毎日努力していらつしやる「意識変革」も、すごく大事だと思う。「どっちが大切か」なんて優先順位はあつとまわしにして、自分ができることから始めませんか。

私は、女の問題というのは、決して女だけの問題ではなく、社会全体の構造的な問題だと思つてゐる。たとえば

男女の賃金格差でも、一つの企業について言えば、そんなに大きな格差はないんです。賃金の良い大企業のトップに至る道に在るのはほとんど男で、女はなかなかそのコースに入れない。まして中途退職すると、中年すぎでの再就職は零細企業しかない。私は(BOC)のような零細企業で働き続けて、日本の産業の四重構造、五重構造がほんとうにわかつた。

この零細な(BOC)のまた下に、もっと零細な、夫婦二人だけというような企業がある。そういう所の人に、「消費税腹が立ちませんか」つて聞くと、「立つてますヨ。もちろん立つてますヨ。でも一分でも手を休めるひまがありませんか」つて言う。五月の連休でも大企業の人とは大型連休がとれる。下請けの私たちはその半分、私たちのまた孫請けは一日も休めない。そういう形で定期刊行物がやつと定期に発行できる。そして、そうした階層の下請けの人ほど、思いはあふれても何一つ発言できない。その一番発言できない層を消費税が最も激しく痛撃する。

こういう構造は国会の中に積極的に乗り込まないと変えられないと思う。

大島 既成政党が総花的であるのに対し、ミニ政党は〈原発イヤダ〉など、政治に要求するものがハッキリしてるでしょ。やっぱり女の問題のパイプを持ちたい。パイパスじゃない本通りがあるというのは心強いんですよ。

ただ、こんなに騒がれていながら、それをやろうとする人はいない。これが日本の女の現状かなァと思う。

斉藤 そうかなァ。今度の選挙は、そのきっかけが出来たんじゃないの。いろんなミニ政党に無名の女たちがかわってますよね。

大島 でも、なかなか大同団結できないのね。

斉藤 何としても大同団結しなくちゃ。

ミニ政党が乱立して、しかもその中に「自民隠し」も多いことが、今度関わってわかった。顎然とした。

私の「ポスター運動」の意味の一つは、実はそこにあるのよ。無党派で「市川房

枝さんのようなクリーン選挙で女性を議会に」というキャンペーン。これを、反

原発でも環境でも、ちきゅうクラブでも、革新の心ある人に使ってもらいたい。

草の根の女たちが同じポスターを使う中から「大同団結」の声があがって来ないかな……と。ドンキホーテかもしれないけど。ミニ政党の連合の話が流れたのは

幹部の男たちが 話をつけようとしたから。運動を盛り上げてきた女たちのほうではないと思う。ただもう、あまりにも時間が無いのよね。あせっちゃうなァ。

自民党の選挙通でさえ、今度は「ミニ政党がバラバラなら合計七、合同すれば十数議席」と読んでいるのに……。

石黒 いかにも環境問題のような党名をつけ、「女性差別撤廃」を公約の最初に掲げている党が実は極右と知ったときはビックリしましたね。そういうのをハッキリさせる意味でも、筋のいいところが団結しなくては。

政治がこれだけ身近になったのに

桑原 今度のようにリクルートや消費税の問題があったりすると、政治なんてそんなにたいそうなことではないとか、最も生活に密着したことなのに、「負の世界」になってるのね。

斉藤 ヤクザの世界になってる。まともな人間が入れない世界。そしてヤクザをのさばらせている。だから今度、しろうとがドドドッと入るといいと思う。

大島 社会党がコウタローさんを入れたがったのも、しろうとの新鮮な感覚がなかったのだと思うわ。

寺沢 子どもが保育園に行つてるとき、ある党の人がいたんです。その党を支持しろと言われるので、自然にみんな彼女とは口をきかなくなった。

大島 その人が来るとオルグされるんじゃないかと思うからよ。私がもし〈ちきゅうクラブ〉の推薦人になると、私は〈クラブ〉の人、って見られてしまう。

寺沢 日本の社会って、それを出さなざるんじやない？ アメリカやヨーロッパあたりだとみんなはつきり政党色を出す。ステイングだつてジェーン・フォングだつて、ブリジット・バルドウだつて。大島 フェミニストはやり始めてるんじやない。私は「ちきゅうクラブ」のポスターを貼るわよ。反原発のポスターも隣に貼る。土井さんの貼る。どっちを応援してるのって聞かれたら、みんな応援してる、って言う。

桑原 私も、共産党と社会党と「ちきゅうクラブ」と三つ並ぶと思う。

竹内 ふつうはそうなのよ。

大島 ただ、一票しかないから、入れる時は考えるけど（笑）。

斉藤さんは「ちきゅうクラブ」とのかかわりをやめて、新しい「おんな党」をつくるの？

斉藤 私は応援団は続けます。ほかにも応援します。ただ、先方からの出馬要請にはお応えできなかった。それは「ちきゅうクラブ」が悪かったわけではなく、自

分の心の在りどころを、頭がバクハツしそうになるほど考えて、いま自分は、もっと別のことをするべきだ、と考えるようになった、というだけのことです。寺沢さんが言われたように、日本人は、何を支持するかを鮮明に打ち出すべきだと思う。企業とか家とかムラから自立した「個人」の顔が見えるようになったとき、日本の政治が、草の根から変革する、という気が私はしてならない。

これから呼びかける「ポスター運動」は、そういう個人のミニ・メディアのもりで。ポスターに書かれることばは「エコロジストとフェミニストが手を結ぶなんてステキね」でもいいし、「原発イヤダ」でもいい。「消費税困るウ生きていけないよ」「ミニ政党大連合しないとダメよ」でもいい。誰かの口うつしじゃなくて、自分が手を動かして書く。家の前に貼る勇気がなかったら、トイレのなかに貼ってもいい。政治家が何千万もかけてポスターをつくり、それを送りつけて貼らせて、「政治は金がかかる、か

かる」と言うんじやなくて、ひとりひとりが手を動かす、口を動かす、金を出す、それが政治じゃないか、という気が、私はどうしてもしてならないの。

大島 一枚千円のポスターは高いんじゃないですか。

斉藤 そうかなあ。この前、七十過ぎた復員兵士が「あごろ」にいらして一万円カンパして下さったわね。その時、「一万円で平和が買えるんなら、こんなに安いものはない」とおっしゃった。市川房枝さんの「理想選挙」は、一万人の人が一人百円ずつ出し合うことだったけど、当時の百円は、今の千円でしよう。

「政治に身銭を切る」のは、とても大切なことのような気がするんです。「身銭を切らずに」政治家の招待旅行などにしかけた結果、消費税という高いツケを払わされた。一世帯あたり年間七万円を超えることは確実な消費税を、千円のポスターでストップできたら、こんなに安い投資はないと思いますよ。

このポスター構想が浮かんだとき、も

う一つ気がついたところがあるの。ミニ政
党結成の条件は、十人の候補者を立てる
ことだけだ、供託金は、地方区で二百万
円、比例区（全国区）だと四百万円。と

てもダメだという気になる。でも、四百
万円というお金は、ポスターを六千枚売
ればつくれるのね。六千枚のポスターな
ら、なんとか売れそうな気がする。勝手
に名前を出して悪いけど、たとえば、
（パート未組織労働者の会）で六千枚、
（お勝手連）で六千枚：が、もし可能だ
ったら、十人も、ユメではない。

大島 夢物語すぎるんじゃないの、……。
斉藤 もちろん大夢物語よ。でも、そん
なふうにしてみんながかかわらなかつた
から三百議席になったんじゃないの。

何もしないで、あゝあゝ、と思うより、
敗れても自分が気持ちがいいんじゃない
かい？

そして、仮に解散、総選挙となったと
き、どんなに小さくても、一つの「かま
え」があれば押しつぶされないけど、そ
れをつくっておかないと、期待するほど

保革逆転にはならないんじゃないかなあ。
大島 私はそれよりも、今度は出てほし
かった。

斉藤 最初みんなに相談したとき、さぞ
かし大反対すると思ったのに、「立て！」
という雰囲気だったので、とても驚いた
し、みんな燃えたいんだな、と思ったの。
私のことをダシにして（笑）。

桑原 それはみんなあるんですヨ。私の
職場の人なんて、「エッ、斉藤さんが出
るの。だったら一万円カンパする！する
ウ!!」なんて。

大島 斉藤さんをサカナにして、みんな
が燃えたかったのに。
斉藤 そういう意味ではね、ちよつと残
念だったって気もする。ハハハハ。

大島 私は奥川さんの回答と同じような
気持ちだなア。

斉藤さんに愛のことを。「チャンス
の神様は前髪しかない」。後ろ髪はつる
っぱげ。前に来た時はつかまえなくちゃ。
斉藤 ありがとう。大島さんはやっぱり
くやしいのね。長野からおとり刀で駆

けつけて、背中を押そうとしたのに、ご
めんなさい。

前髪をつかまれて、体がスツと前に出
る時は、何も考えてない時か、十分に考
え抜いて覚悟が出来てる時ね。私は（お
んな党）には燃えてたし、覚悟も出来て
たけど、自分が出ることは夢にも考えて
なかった。その不用意さを突かれたので、
もろかったのだわ。でもお蔭で十年分考
えた。これはきつと何かの形で返しし
ます。

訂正とお詫び

あごろ11号 五・四天安門前広場

1

芦澤礼子

27頁19行「姉姉我没錯」↓「奶奶我没
錯」

27頁20行「我們一小撮嗎？」↓「我們
一小撮嗎？」

27頁21行「这个字什么？請写一下」↓
「这个字什么？請写一下」

29頁3行「一小撮ひとつまみ」↓

へ「一小撮ひとつまみ」

に訂正してお詫びいたします。

へあごらゝ 各拠点かゝりの回答

斉藤さんの出馬をめざり、①「へあごらゝはどの政党とも関係しない」が原則、出馬はおかしい。②「政治とは関係しない」とは言っていない。フェミニスト政党ならむしろ賛成」の二つの意見が出たため、へあごらゝ有志から各拠点責任者に、賛否を問う質問状を出しました。以下がその回答です。

~~~~~

### 〔賛成〕

◆あごらと通底する多くのものをへちきゅうクラブにみます。

コウタローさん、ゆみこさんなどの元気の出る名前を見て、フーム、地球も捨てたもんじゃないぞと思ってます。

ただ、お体のことが気掛りですが、フオローでできることを一人一人がしてゆきましよう。何か、嬉しい始まりを感じてます。(スキップしてランランの心)

鳥取 前田 亨子

◆私自身も個人的には政治にかかわる太い神経を持ち合わせていないからと、しりごみする気持ちが大きいから、斉藤さんも優しい柔らかい感性で簡単に踏み切れない何かをふり捨てるのに今心の中で

かなりの葛藤が有るだろうとは思いますが、

でもそういつている間はいつまでたっても政治が柔らかない生活感覚に近づく可能性はなく、やはり「見る前に飛べ」の心境でご自身を鼓舞し励まして決心すべきです。

遠く離れた保守の根城ながら、心ある人の輪を私の力の及ぶ限り(微力ですが)支えたいと思います。

あごら松山 奥川 睦

### 〔反対〕

◆へちきゅうクラブ、はじめて知りました。資料を拝見していますと「あごら15周年特集号」のⅢ、Ⅳあたりと重なってきて、「思いのありよう」はわかるの

ですが、漢字だらけの語調、勢いが強すぎて疲れました。肩パッド入りの服をカチツと着こなせるエリート女性のイメージ？ 斉藤さんはトロンとした服を体に負担をかけないで着ている方が近年の心境と合っているのでは、とも思います(フアッション誌ではないですね。スママセン)。

現在の斉藤さんの中で燃えるものがどれほどおありなのかわかりませんので判断しかねるのですが、斉藤さん御自身の持ち時間は、ていねいに、わがままに使われたほうがよいと思います。

これほどのパワーをもったへちきゅうクラブがなぜ？という不審感をもちました。円さん、金住さんこそと思います。

あごら仙台 三船 照子

### 〔その他〕

◆確かに「フェミニズムとエコロジー」という主張は魅力的です。しかし選挙に對しての考え方も皆それぞれ違うし、山本コウタローに對しての反発にあったり

して、△あごら札幌Vとして意見を一つにまとめることはできませんでした。集まった六人が六人とも違う意見だったの  
で、それをそのまま書き送ります。

A 賛成。応援する。

B 千代さんに借金が残らない形で立候補なら応援する。

C 出るのはかまわないと思う。個人の自由だ。しかし自分は応援できない。なぜなら今回選挙区で市民運動をやってきた社会党推せんの女性候補を応援している関係があるので。またミニ政党乱立で票が分散するのは残念だと思うので、今回は社会党に入れるつもり。

D 反対。だいたい以前から着々と準備していたのなら別だが、公示一、二か月前という、この時点で出る出ないといっているのは問題外。思いつきの立候補は困る。やめてほしい。反原発の主張一つとて一つの党にまとまらず、たくさんのミニ政党に分かれているというし、このままだと自民党の思うつぼになる。

E 反対。「原発いらない人びと」の選

挙をやっている関係で、コウタローの出馬経緯をよく知っている。コウタローと組むのは反対。たとえばフェミニズムをうたって△あごらVで出るというのなら話は別だが。あるいは△地球クラブVが女である吉田真由美さんを前面に押し出しているというのならまだわかるが、コウタローでは……。結局、現状では「コウタローを当選させるための党」になっ

F 出るなら出てもよいと思う。しかしどの程度応援できるかは疑問。確かに「フェミニズムとエコロジー」という主張は魅力的だが、現実的にはいろいろな問題がからんでくると思う。経済的な問題。すでに選挙運動をはじめている他の市民・革新グループとのからみ（あごら札幌のメンバーも何人か他の選挙に深く関わっている）。現時点でどのくらいの勝算があるのか等々。

出るなら応援はしたいが……（私に出来る応援は五千元〜一万円のカンパ（もう少し何かできるかもしれないが）と何

票かの票よみ）

私の意見はFです。

あごら札幌 細田英理子

◆渦中にあるものと取り巻く輪のさらに外側にある九州の感覚とにはかなりのズレがあるのかと思いますが、正直なところ対応に窮しています。これまで△あごら九州Vは一度としてフェミニストにとって政治とは何か、どうかかわればいいのかを語り合ったこともなく、いま△あごらVが情報の発信者から政治舞台に人を送り出す役にまわることはあまりに大きな変化で返信用紙に意見を送ることで済むほど簡単なことではないと思います。選挙運動、財政的裏付け、運動中の仕事をストップしていいのか、当落いずれの結果がでて後も遺症の大きさは経験者のどなたでもその苦悩の深さを言われるでしょう。もろもろのかかえる問題のひとつひとつに説明もなくマルバツで事をきめるわけにいきませんので、以上のようなお返事になりました。

あごら九州 福田 光子

参院選比例区に6人の〈あごら〉会員が立候補します

\*\*\*\*\*

## 新しい民主主義の風を

金住典子

(弁護士)

「新しい民主主義の風を」……これが、新しく誕生したばかりの〈ちきゅうクラブ〉から立候補するにあたっての、わたしの心からのメッセージです。

「新しい民主主義」―それは、わたちが求めてやまない非暴力と愛に基づく政治です。

旧来のように、政治を、主権者が支配する「権力」の行使（憲法前文）とするのではなく、主権者がつくりだした財産や知恵の「民主的な調整機関」にしていかなければなりません。

また、この社会は、主権者以外の者（たとえ「象徴天皇」であっても）によって「統合」されるようなものであってはならず、わたしたち相互の信頼と叡知（矛盾や多様性を創造発展の中に含む知恵）によって結びあうものにしていきたいと思います。

そのための「政党」は、「権力」の掌握をめざして覇権争いをするような「セクト的」なものであってはならず、「主権者個人」がいきいきと成長し交流するネットワークを原則とした組織にしていかなければなりません。

〈ちきゅうクラブ〉をこのような「新しい党」として育てたい、それがわたしの夢です。

## 「生きてきて良かった」と

感じられる社会を…

日下部 禧代子

(福祉問題研究家)

土井委員長が国会の内外でがんばっているお姿を見て、また、熱意ある要請をいただき、悩んだ末に初めて立候補を決意しました。全く新しい人生を歩むということで、学生に戻った気持ちで学んでいきたいと思っています。

私は今まで研究者の立場から福祉問題について私なりの理論を形成してきましたが、今度はそれを現実に政策化すること、力を尽くしていきたいと思います。

高齢化社会は、日本が迎えねばならない、そして越えねばならない課題です。やるべきことをやらなかったら、単なる老衰社会になってしまうかもしれません。

人間が人生の最後まで「生きてきて良かったな」と思える社会をつくりたい。

それは多分、ほんとうの意味で豊かな、成熟社会だと思いますが、それを実現するために、皆様のお知恵を借りながら、これまでの経験と知識を役立てたいと思います。

みんなの夢を実現するために「保革逆転」を。

今度は、ほんとうに大事な選挙です。



# 女の心女の知恵で新しい風を\*\*\*\*\*

## 国民連合政権を 作りたい、

くぼたまは  
久保田真苗

(日本社会党女性局長 参議院議員)

当選したら、やりたいこと、やらなければならぬことが沢山あります。

しかし何といっても土井社会党の国民連合政権を何としても実現させたい。これは私達が大臣になりたいとかの低次元の話ではないのです。

自民党の金権腐敗政治はもうその極に達しました。これは四十年間も街に店が一軒しかないのと同じです。腐った魚(リクルート疑獄)、しなびた野菜(福祉年金の切り捨て)、値段が高い(金権政治、不公平税制、ゆ着等々弊害はきりがありません。何とかもう一軒土井商店を作り、まず街を大そうじ(政治浄化)し、良い品を安く(生活重視、女性のチエを活かす)、お客様本位の経営をしたいものです。消費税を廃止し、税制を根本から見直して公平な税制を作らなければなりません。

これによって自民ショウテンも少しは良くなるでしょうし、私たちにマチガイがあれば、私たちも反省し、出直すつもりです。

社会党を応援して下さい。

## われながらどうなってるの？

### こうなってるんデス

こま しゃく き み  
駒 尺 喜 美  
(法政大学教授)

突然、山本コウタローさんがフェミニストと一緒に組みたい、エコロジーとフェミニズムの二本の旗を掲げたいとのことなので、持前の楽天性でのりました。ミイラ取りはミイラにならねば……とつぶやきつつ。

リクルートのおかげで、これまでになく人々が政治に注目していること、これは一〇〇年に一度あるかなしかの状況であること。それでもフェミニズムだけでは、やはり特殊な女たちとみられるだろうが、エコロジーと組むことで、多少なりとも一般性をもちうるであろう、ときわめて単純な判断を下したのでした。

本当のことをいうと、政治の場でどれほどのことができるかと思っていけません。公約めいたことを並べても仕方がないので、たった一つのことをいいます。わたしの立場で集中できること、それは女性の権利省をつくることです。日本は女性差別撤廃条約を批准したのですから、それを現実化するための仕掛けが必要です。婦人問題企画推進本部などと称して、首相が兼任なんて、冗談じゃない。女をバカにしているじゃありませんか！

# 女の心女の知恵で"新しい風を"\*\*\*\*\*

## 女性の感性と知恵を

### 政治に!

しみす　　あこ  
清　水　澄　子

(日本婦人会議議長)

消費税の強行、リクルート疑獄、自民党派閥間の政權タライ回し、などなど……。自民党三百議席によるオゴリと腐敗の政治に、私はどうしてもがまんできません。

私は変えたいのです。カネと効率主義一辺倒にマヒした政治を、一人ひとりのいのちと人権をなによりも大切に政治に――。差別を憎み、自然と平和を愛し、世界の人々とともに生きる社会を創造して、若者に希望をつなぎたいのです。家庭、職場、地域の中で、子ども、学校、保育所、老親の介護に直接かわっている女性たち、また低賃金や長時間労働で働いている女性たちの願いや、アジア出稼ぎ女性の人権侵害が国政で討議される時、政治は変わります。

一昨年の自治体選挙で、多くの女性議員が誕生し、安全な食品や原発の危険性、パート労働や福祉をとりあげ、議会のあり方を変えつつあります。国の政治を変えるためにも、女性が政策決定の場に多数参画することが必要だと考え、私もこのたび、日本社会党参議院比例代表区選挙に立候補いたしました。

土井委員長と共に、憲法を政治に活かし、三十余年、平和と女性解放の運動で培ってきた体験を、政治の場に反映していきます。

## 30年間の取材活動の 結論として立ちます

どう　　あこ  
堂　本　曉　子

(テレビリポーター)

「日本は豊かになりました。優生保護法から「経済的理由」を削除するよう提案します」中絶を規制しようと、三〇九人の自民党議員が「生命尊重議員連盟」を結成したのは七年前のことです。当時の模様を私は昨日のことのように思い出します。

自民党の男性議員が国民の半数を占める女たちに相談することもなく、女の人権を無視して、女のからだについての法律を改正しようとしていました。一番大きな驚きは、半年も前から法改正の働きがあったにもかかわらず、ほとんどの女性がそれを知らなかったことです。女性議員があまりにも少ないのも原因の一つだったのではないのでしょうか。

そのことが、ずっと心のどこかに引っ掛かっていました。好きなテレビの番組づくりの仕事や辞めるのはとても辛いことでしたが、当時の怒りの気持ちが立候補の決心につながったといえます。

三十年間、テレビ・ジャーナリストとして追ってきた保育、福祉、精神医療、アジアの子ども、海外援助などがそのまま国政の場で私のテーマです。  
(社会党・護憲共同)

参院選・比例区に挑戦!

## 草の根○○○政党的運動スポット

手づくり選挙で女たちを国会へ

山口みつ子さんが語る◎大作戦

一九八六年に全国区が廃止され「党」を選ぶ比例代表制となった。これで個人はしめ出され草の根の小政党は不利となったが、今度の参院選のように草の根の女たちが続々と名乗り出たことはない。「もうだまっていられない」思いがあふれたからだろう。

ただ残念ながら何分にもしろうと軍団。ウロウロガヤガヤの声も少なくない。

市川房枝さんの元秘書として、「市川式理想選挙」をたたかい抜いた、市川房枝記念会の事務局長山口みつ子さん、ハチきゅうクラブV発足にあたって、しろうとへのガイド、とっておきの◎戦術を耳うちしてくださった。非常に役に立った。と同時に、「市川選挙」にかけ続けた山口さんの情熱が胸を打った。

「市川選挙」の内幕を語る貴重な女性史の一章とも思えたし、選挙の実態も実にリアルにわかる。この情報を広く女たちに伝えたい思いが深くなり、山口さんとハチきゅうクラブVの諒解を得て、誌上に公開することにした。

☆ 私の話がどれくらいお役に立つかわからないけど、選挙運動はいくらか経験してるんで、条文と条文の間くらいはお話できるかと……。

私は市川（房枝）の選挙は四回やったんです。それと地方選挙はやりました。通常の市民運動とか婦人運動は勝手にやればいいんですが、選挙には「公職選挙法」がありますでしよう。一定の要件があるんです。まず出てくるのが「べからず選挙」。みんな頭に来るんです。でも、悪法も法なんであって、悪い点は選挙法を改正していかなければならないと思

うんです。

よく、「少々違反したってかまわない」と言う人がいるけど、そういう人はつかまらない。手足になった人たちがしょっぱかれて傷つくんです。

いま選挙違反で一番多いのは買収、次が戸別訪問、そして文書違反です。買収は依然として一番多いんだけど、最近巧妙になりましたね、あんまりひっかからない。第一、買収は皆さんには全然関係ないでしょう。問題は多分、戸別訪問と文書違反なんです。これは「六法」見てもわからない。前に

改正された時に私は「わかりやすい公職選挙法」を買ったんですけど、これでも経験のある人でないとわからないんです。

「参議院選挙の手引」はわかりやすい。何人か持っていたほうがいい。特に事務管理が大事なんです。事務管理の強い方がいいのと選挙運動はできません。選挙事務長は、こういうことに専心してもらえる人。しろうとでもいいんです。そこからだんだん知ればいいわけです。

ただ、婦人運動、市民運動の素人の集団ですから、「やれること、やれないこと」の一覧表をつくるといい。徹底するように。

## 選挙運動とは

選挙のための活動には「選挙運動」と「選挙のための準備行為」と「事前運動」があります。

「事前運動」は「選挙のための準備行為」と混同されがちですが、これは「選挙違反」なんです。やっちゃいけないのです。

「選挙運動期間」は、通常十八日間だけです。七月二十三日が選挙だとすると、七月五日が公示です。よく、「公示」と「告示」を間違えますが、知事選など地方選は告示で、選挙管理委員会が、「選挙の期日」を告示するわけですが、衆参選挙の公示というのは、天皇による国事行為なんです。

「七月二十三日に参議院選挙をやります」という公示が出ますと、その公示の日に届出に行きます。届け出たいいろいろな書類が受理されて、はじめて選挙運動ができるんです。

選挙運動というのは、選挙管理委員会が受理された時から投票日の前の夜の十二時までできます。それ以外はすべて「事前運動」になります。事前運動は選挙違反なんです。たとえば、「私が出るから投票頼むわね」と公示前に言っちゃうと選挙違反なんです。いろいろな文書も、「通常の範囲を超える」と「事前運動」になるんです。

ただ一番まぎらわしいのは、「立候補するための準備行為」で、これは、選挙運動と違うんです。

## 選挙運動するための「準備行為」とは

選挙区選挙の場合は運動が大変です。比例区選挙は個人ではなく党名を記入するのです。「あの人が入れてくれそうだ」という感じがつかめないんです。有権者の反応は選挙区が一番よく伝わる。比例区は靴の上から足の裏を搔くようなものですから、これで選挙やっているんだろうか、というようなつらさもありますね。私は比例区の実験はないんですが、若干共通項もありますのでそれをお話ししましょう。

選挙運動というのは、さっき言ったように制限があり自由で仕方がないんです。ですから、当選するためには市民運

動でも婦人運動でもやって名を知られている人が立つのが一番いいんです。十八日間だけの選挙運動というのは、本当に限られています。届け出をした時に決まる、というような場合もあるわけです。大宅壮一さんが「市川房枝は何もしなくても当選できる」と言ったのは、「あんたは戦前から六十年も事前運動やっていたじゃないか」(笑)と。でも、急に立候補する人もいっぱいいるわけで、限られた範囲でいかにするか、ということなんです。

ここで大切なのは、「事前運動」はダメだけれども、「選挙のための準備行為」はいいということ。ミニ政党として「準備」を始めるのには、まず「政治団体」として届け出をしなくちゃならないんです。「政治資金規正法」による届け出です。

皆さんの運動の場合には全国にわたる運動になりますから、自治大臣に届け出ます。団体名、目的、所在地、代表者、会計責任者、会計職務代行者、会則を持って、発会した七日以内に届けるんです。この届け出が終わるといよいよ「準備行為」に入ります。

資金集めは収支をガラスばりに

「準備行為」の最大の「行為」は「お金集め」です。これが例のリクルートの元です。入ったお金は、百円なんていう

のはつけなくていいんですが、一万円以上の寄付は住所、氏名、職業を明らかにして記入しなくてはなりません。ただし外国人からはもらえないんです(エエツの声)。禁止されています。

政治団体への寄付は一人で二千万円できます。収入印紙も要りません。法人は資本金によって違いますが一億円までできるんです。一団体に一億円ですから、派閥の領袖などはいくつも政治団体を持っているんです。

○ 合法的な脱法行為ができるワケですね。(ハァー)

☆ このへんどじだったのが宮沢さんね。政治資金規正法による届け出をして、出納帳をきちんとつけておけば、中曽根さんのように法律にはふれないんです。要するにガラス張りにすればいいんです。だから「規制」ではなくって「規正」なんです。

○ 供託金を個人が立替える場合にはどうなるんですか。

☆ 各個人が借りるのなら民法上の問題ですが、政治団体としての借金なら政治団体の借入金ということになりますので収入に記載しなくてはなりません。「寄付金」ですとその心配はありませんが、一人でする寄付の限度額に引っかけられます。会費や物を売ったりするのも全部記載するんです。「その他の事業」ということで。「パーティー」も、「その他の事業」になります。

政治資金規正法の解説書はたくさん出ています。そんなに

難しいものではありません。

支出に関しては、十項目あり、すべて領収書を取っておい  
たほうがいいのです。タクシーでも何でもできるだけ。一万  
円以上の支出は受けた人の氏名、住所、職業の記入がありま  
すが。これは一年に一度届け出るようになっていきます。毎年  
十二月三十一日に経理を締めますが三か月以内に届けます。  
この届け出が大事なんです。領収書をつけて、収支報告を自  
治大臣に提出すればいいのです。こうして集めたお金を選挙  
に使うことができるのです。

○ その限度額は？

☆ 無限です。(ハァ!の声、一斉に)

選挙区選挙には法定選挙費用というのがありますね。東京  
のような大選挙区ですと、たしか三千万円です。ところが比  
例区は法律上の制限はないんです。だから大政党は強い、と  
いうことになるんです。

選挙区の法定選挙費用は、その地域の有権者の数によって  
違います。使つてよい支出基準については、例えば、選挙運  
動員には実費弁償として宿泊は一泊七千円、食事一回五百円、  
労務者には一日四千五百円、五割の超勤は認めるとか、通常  
の茶菓は三百円とか、みんな決まっていますが、比例区はな  
いんです。でも、これは皆さんで決めたほうがいいですね。  
食事の時は手弁当にしようとか、お茶菓子は自分で持つとか、  
市民運動の場合は決めておいたほうがいいと思います。とく

に選挙運動が忙しくなると、ごはんを食べに行く時間もな  
くなり、おにぎりがほしくなったりするのね、それは保証する  
とか。運動員以外の人におにぎりをパンパン配ったりすると、  
買収になるんです。食事代を保証するからといって、うな井  
を食べられたりしても大変ですから(笑)、ルールをつくつ  
ておいたほうがいい。お金のことが一番トラブルの基になり  
ます。その場合、選挙区選挙の基準を参考にするのいいと思  
うんです。高いだの安いだの始まると、結論が出ませんから。

今度は百二十五万票で一議席

☆ 拘束名簿式比例代表制の一番の心配は、名簿の順番なん  
です。十人立てて十人当選するのは難しい。このへんまでは  
行くけども……というのがあるわけですね。だからみんな一  
二番になりたい。ここをうまく調整しませんと……。

ご存じと思いますが、名簿の順番は上のほうが目立つんで  
す。後ろから三番目くらいは目立たない。また代表は政見放  
送でいろいろ意見を言ったりしますね。このへんも工夫のし  
どころです。

○ 放送は一人でもいいし、全員出てもいいし、パートIと  
パートIIに分けて、順列組合わせでやってもいいですね。  
でも二部構成にしかできないし、ディレクターを連れていく  
こともできないんです。

☆ 放送時間も名簿搭載者の数によって、七分とか十四分とか違ふ。新聞広告も人数によって段数が違いますね。数なんですよ、政治は。

○ すべて大政党が有利なんですね。

☆ 前回の選挙は二十七の政党が立ちましたね、比例区で五十番目までが当選なんです、それが百万六千二十六票です。これが最低ラインでした。その時の有権者数が全部で八、六四二万六、八四五、そのうち女が四、四五八万四、七三九、男が四、一八四万二、一〇六で、女性のほうが二七四万人多かったんです。投票率は、女性が七二・四四％、男性が七〇・一四％で、女性のほうが二一三％高かったです。今度はリクルートとか消費税とかで選挙の関心が高いから、投票率はもっと上がるんじゃないかという予想が立ちます。また、この沈滞した空気を女性たちで破ろうとか、いろんな空気がありますから、女性がもっと出て来ると思います。「歌のおばさん」もミニ政党をつくるそうですし、政党の数は増えるでしょうね。でも実際に議席が獲得できるのは少数でしょうね。参議院の定数は二五一で、比例区が一〇〇、選挙区が一五二。その半数が今回改選されるわけですから、比例区が五〇、選挙区が七二八です。比例区は前回が最低百万ですから、今度は百二十五万と言われています。それ以上取らないと一議席がむりなんです。せっかくミニ政党を作って議席獲得をめざすのですから政治団体を結成する前に、その

へんの瀬踏みはやっておくと思います。

届け出書類等の事前準備は念入りに

○ 団体の綱領はかっちりしたものがなきゃいけません。

☆ いいえ、名前は綱領ですが、目的や政策を、有権者にわかりやすく書けばいいのです。

さて、一番の問題は事前審査です。相手の役人も人間です。「教えて下さい」と聞くんです。何回でも足を運んでね。そして、公示の日には「持って行けば通る」という状態にしておくこと。審査が通らなければ、どんなに候補者を揃えても供託金を用意しても全部パーになります。これを七月五日の公示前までには仕上げておくこと。逆算してスケジュールを立てるんです。代表者や綱領のほかに候補者の戸籍抄本も必要ですが、これは最新のものを用意してもらうこと。「三年前にとったのがあります」なんて人もいるから、ちゃんとチェックする。こうした仕事の一覧表をつくっておく。これはみんなでワイワイガヤガヤすることではないのです。事務局長が冷静に見る。同時に届け出に専心する人を一人置くこと。各担当を置き、事務局長は統轄するんです。ムードづくりの上手な人、文章が得意な人、事務がきっちりした人とかいろいろいるんで、それぞれの特技を発揮させつつ、事務局長が統括する。会計部門は、正確でうるさすぎるくらいの人を入

れて独立させる。まアおたくあたりは何億というお金が集まるといふことはないでしょうけど（笑）。

届出用紙はコピーをとって、まず下書きしてみる。いくら選挙をしたくともこの書類が不完全だと問題外。法定要件を満たしているか、しっかりと確認することです。

供託金は法務局に納めるのですが、現金か国債証書に限られます。一人四百万の証書を十口用意すること。「トータルで四千万」ではないようです。法務局で確認して下さい。

供託がないと選挙はできないんです。あれは一種の保証金ですから。当選者がたくさん出れば供託金はかなり戻ってきますが、一人二人だとほとんど持って行かれます。

供託金は、今すぐでもやっておいたほうがいくらいです。供託証明書がないと選挙ができませんから。私たちは選挙に出るとなると半年前から準備を始め、三か月前には供託しちやいます。

ミニ政党はこれからお金を集めて……で大変でしょうけれど、供託証明書がないと事前審査が通りませんから、まずお金のメドをつけておくことですね。

ミニ政党はアイディアで勝負しよう

公示の日に自治省に届けに行くと、すべての政党がドッと並んで大騒ぎになるのですが、あれは順番を決めるクジをま

ず引いて、その順番でクジを引き、受付順が決まるのです。早く行ってビリになった例もある。前の晩から並んだりしても無意味です。

公示の日の届け出は、朝の八時三十分から五時まで、たった一日なんです。その日に届け出しないとダメですから、審査で却下されてもその日のうちに修正して出せるだけの準備をしておかないとダメ。それだけに、事前審査、予備審査には万全を期すること。公示の日には書類一式もって飛び出せばいいようにしておくことが大事です。ポストンバッグに入れて準備しておくこと。向こうでいろんな道具をもらいますから一人で行ってもダメ。通常三、四人は行かないと。「選挙の七つ道具」と言って、確認団体の標旗とか、いろんな道具をもらいますから。

○ 三、四人も必要なんですか。

☆ なるべく大勢でいらっしゃい。そういう現場をみんなで見てもおくのも大事なことですよ。

○ ドレスアップして行こうかしら（笑）。

☆ そういう現場は、マスコミはあんまり撮らないね（笑）。

第一声をあげる場所も考えておくこと。渋谷とか新宿、池袋、数奇屋橋は大政党がみんな取ってます。自分たちの宣伝カーを前の晩から置いてます。カッコしないですという人たちと上手に話し合って場所をゆずってもらえるような人を車長にするといいですよ。大政党と権利は同じだけれども、そ



せる参加の場が大事なのです。

お金集めには領収書を

ういう連中と渡り合う必要はないんです。あっちがこうならこっちは多摩ニュータウンに行くとか、そういう戦略を立てるのが選挙の大事なところなんです。盛り場には大政党が集中して、一時間半くらいは頑張ります。それ以外で目立ちそうなところ、人の集まりそうなところを考えるのが戦略です。

○「第一声をどこであげるから来て下さい」とマスコミに言うのはいいんですか。

☆ マスコミ担当者をつくるでしょう。その人が毎日の街頭や政談演説会などの情報を流すわけです。事務長はそういう所には出かけないでドーンと座ってること。コントロールタワーですから。マスコミの人たちは、「どういうしろろと選挙をするだろう」って興味をもつでしょう。スケジュールのコピーをつくって、配布する。目玉をつくっておくこと。十八日間で四十七都道府県を回るわけにはいかないから、戦略の中心をどこに置くか、最も支持されそうな所を決めて山をつくるんです。こういうのはミニ政党はお得意でしょう？

十八日間の最後のほうになると疲れちゃいます。中だるみっていうのもあるんです。中だるみにならないよう、人海戦術で作戦を練る。最後の日は大政党に集中するから前の日あたりに山を置くとか、ミニ政党なりにいろんなふうが必要だと思えます。

マスコミですが、みんなが「あの事務所に行ってみようよ」とか、「何か手伝うことないか」とか、その気をおこさ

☆ 選挙運動は届出してからできるわけですが、「準備行為」は七つか八つできます。

一番大事なのはお金集めができることです。お金集めは選挙中でもできます。これは投票依頼行為とは違うんです。

「政治活動するための行為」として、「活動費として寄付をしてください」と言えるわけ。投票依頼はダメ。知り合いから知り合いだったら言えるんです。

大事なことは、寄付は無記名だったらダメなんです。街頭カンパは無記名だと違反です。それで私たちは領収書綴りを作っていました。たまたま渋谷で政談演説をやった所にカンパしたいと言う人がいたら、それをだして、住所・氏名・職業、できれば電話番号も書いてもらうんです。寄付の領収書を出す。その名前が今後のコミュニケーションにもなるんです。

○ それは大事ね。

☆ 次が選挙事務所の借り入れ交渉です。まず、「政治団体の事務所」が必要です。これは事務ができればどこでもいいんです。候補者の心理として銀座とか新宿とかに事務所を置きたくなるけれど、それはすこいお金がかかります。事務を

実際にできる場所ならいいんです。コピーとかFAXが置けるような所ね。

私たちの時は複写でしたからね。三十四年の時なんて、ボールペンでカーボン用紙で引き写しでしたよ、青焼きなんかできないから。今はレンタルでいろんな事務機器が借りられます。政治団体の事務所は、「事務が能率的にできる場所」であればいいのです。

### 選挙事務所は異動できる

一方、「選挙事務所」は、お金があれば四十七か所設置できます。四十七都道府県に一つずつ置けるんです、比例区は。○たとえば東京に四十七置くことはできるんですか。

☆ダメです。選挙事務所は一都道府県に一か所だけです。政治団体の事務所と選挙事務所と、合計二か所置くことはできません。

○二つを一緒にすることはできませんか。

☆できます。市川は、選挙事務所は自宅を使っていました。「市川房枝推せん会」と「市川房枝選挙事務所」と、二本看板を立てて。それでいいわけです。

ただ、目抜き通りに置けば目立ちますね。新宿や銀座の目につく場所のビルを支持者が持っていたら、そこを貸してもらい、看板をたてます。しかもそれは異動できます。

○それはおもしろい!!

☆ただし異動は一日一回だけです。それと必ず届け出が必要ですよ。それで私たちは異動届けの書類を沢山つくっておきました。すぐ出せるように(笑)。

でも、皆さんがお考えになるほど簡単なことではないんです。立て札、看板、提灯……、それぞれ大きさが決まっています。看板の大きさは脚まで入れて幅一メートル、長さ三・五メートルが最高の。それより小さくしてもいいんだけど、みんなバンバンにでっかくするの。ところがそんな看板を持って歩くとトラックを借りなければならぬ(笑)。そこで折れたたみとか垂れ幕(懸垂)を。でも懸垂かけられるような所は、東京は何か所もない。それに、三・五メートル×一メートルはでっかいと思うでしょうけど、ビルに立てると、それは小さく見えるの(笑)。

でも、自分の所が選挙事務所になると、積極的に支持してくれる。そんな有権者心理もあります。だから借り入れ交渉は大事なんです。「あなたの所はすぐ場所がいいからゼヒ……」と声をかける。断られても、「立候補する」というPRにはなるし(笑)。それは選挙の「事前運動」にはならないんです。

○あっちこっち、むしろ断られたほうがいい……(爆笑)。

☆比例区の場合は個人ポスターはないんです。ある候補の運動員はこんなことをやっただけです。「ポスターを貼らせて

ください」と何千軒も言って歩いたの。それで名を売った……。

○ なるほど!!

☆ それは市川方式ではないんで、市川は嫌いました。若い人はそんなことやりますよ(笑)。

○ 政党的ポスターは貼れるんですか。

☆ 貼れます。

☆ 準備行為の中でそのほかやれるのは「応援弁士の交渉」。

これは、この頃は皆さんがしゃべれるようになったから問題ない。しゃべることは何を言ってもいいんですよ。それこそ言論の自由ですから。——文書となると制限があります。ことばは聞き違えということもあるから。

準備行為の中に含まれるものとしては、会場設営などのための人手「労働者の雇い入れ」もあります。これも早めに行っておかないと、選挙になってからやるうなんて思ったら大変。いろんなことに人手が必要ですから、人手も獲得しておかないと。

市民型運動の場合には、人手の多くはボランティアになるでしょう。ボランティアで来た人の仕事がないとダメなの。

「あなたはこの係」って、手ブラにならないようにする。係があると責任感を持って輝くんですよ。ブラブラするとお茶出しだけになってしまう。

公務員は候補者には(仕事を辞めない)と出来ないし、選

挙運動もやれない人もいますから、それはよく気をつけて。

比例区は個人の選挙と違いますから、「政談演説会」ということになります。この会場は、いい会場をみんなとられますよ、早く手を打たないと。盛り上げたい。山の日、仮約束しておくといひでしょうね。

それから宣伝カーをどう動かすか、弁士の依頼などもちゃんとスケジュールをつくっておく。そして責任者を決めておく。看板・立て札、ポスターも前もってつくっておく。車の借り入れ交渉も。基調にするイメージカラーも決めておくといひでしょうね。

選挙区と違って、ピラもハガキも、比例区はないんです。出せないんです。

供託金を出すことによって、「公営選挙」と言って国が費用を持ってくれる部分があるんですが、「政党」ができるのは、「政見放送」と「選挙公報」「新聞広告」です。九人から十六人の候補者の部分は、新聞広告は三十八センチに十六段ぬきで三十二回やれるとか、立候補者の数によって決まっています。ここでも小さい政党はソンです。

そのほか、お金があれば民放でコマースシャルを流すことも自前でできます。「二十一世紀にはばたく自由民主党!」なんて。これはしかし国の費用は全く出ません。

○ 自前のピラはいいのですか。

☆ 配れないんです。選挙期間中は。

○ 選挙前はいいんですか。

☆ 中央選挙に届けておけば機関誌を発行することはできません。「一万部刷ります」とか届けておけば。

あとは「あごろ」のような雑誌で選挙評論をすることはできるんです。いきなり選挙目当てに雑誌をつくることはできないんですが。

自分がもの書きで頼まれて、いろんな媒体に「こういうことで出ることになった」と書くのはいいんですよ。投票依頼の「ヨロシク」さえ書かなければ。「ヨロシク」は公示以後だけです。その前に「状況を伝える」ことは一向にかまわないんです。同志の間の連絡通信にならんどん書けるし、マスメディアにコラムなどをもっている人は、その中で「状況」を書くことはかまわないんです。「世の中おかしい、だから出る」とか……。

第三種の雑誌とか新聞など、法定要件を満たしているものは、選挙期間中もやれるんです。

○ 抜き刷りはどうなんですか。

☆ それはちょっと問題なのね。「通常の形態」であることね。

○ 臨時号とか号外は？

☆ 選挙目当とみなされるし、あぶないね。

「知り合い」から「知り合い」へが大事

☆ PRにしても、お金を集めるのにしても、知り合いから知り合いへ、このネットワークが大事。でないと「恐れながら」とやられます。

○ 通常、月一回発行しているもののにのせるのはいいんですか。

☆ 客観的な記事としてなら、かまいません。

○ 月刊を急に旬刊にしたりするのは？

☆ それは、まずいでしょね。

○ 賛同者への連絡文書のようなものは？

☆ 内部連絡はかまいません。ただ、やたらな人にはたくさん配れません。選挙運動の制限を知らない人がいるから「やたらな人に配らないでください」と、書いておくことですね。「会員のみの連絡です」とかね。

機関誌に関しては、中央選挙管理会に「いまできる文書は何ですか」ともう一度確認してください。

○ ハガキは選挙期間中はダメなんですか？

☆ 比例区は選挙用ハガキはないのです。選挙区ですと法定の枚数があります。たとえば東京なら八万五千枚とか、国費で持ってくれます。

○ そのハガキに、選挙区は誰々さん、比例区は何々に……と書いてもかまわないわけですか。

☆ かまいません。中身は何を書いてもいいんですよ、相手

を誹謗しなければ。

○ 公示前のハガキに「推せん人になってください」というようなものは？

☆ それは、めたらやたら出してはダメなんです。いま一番問題なのは「後援会入会申込書」ですね。入ってくれないのを知っていて、経歴を書いて最後に「討議資料」なんて言っで出すのは違反なんです。

違反で一番ひっかかるのは、候補者の個人リーフレットです。「討議資料」がバーンと出回ってるわけ。お互いに知っている間柄で、「あの人の政策研究」なんていう場合には問題にならないけれど、知らない人から、反対党の人に出したりすると、「恐れながら」って通報されますからね。

○ そうすると知らない人に送ることが可能な文書って、何なんですか。

☆ 結論から言うと、何もないんです。でも「あごろ」が客観的なニュースとして書くのはいい。有料で売られているものはいいんです。

○ 「ちきゅうクラブ通信」を出して、その中で賛同人になってください、というのはいいんですか。

☆ 同志間はそれはかまわないです。十万人に配るとなると問題ですけど。

○ でも、（警察には）わからないでしょう。

☆ あそこも既成政党と同じだというイメージダウンのほう

が多い。

○ Tシャツやカレンダーを有料で売るのはかまわないんですか。

☆ かまわないんです。それは「事業収入」の中に入ります。ただしコピーが何かが問題。

○ 売出し元の住所、会名を書いても？

☆ 販売の場合にはかまわないです。

○ 新聞や雑誌にコラムを持っている人が書くのはかまわないんですか。

☆ そういう場を持っている人こそ活躍すべきなのであって、「よろしく」を書かなければいいんです。「もうがまんならない」と、どんどん書くといい。「全くズブのしろうとだけどやることにした」と書くのはいいんです。

皆さん書きたいだろうし、しゃべりたいだろうと思う。いま一番いいのはミニ集会ですよ。「今の政治はこれでいいのか」みたいなことをいっばいやればいい。「もしこのことに関心があるなら、事務所はここにあるから来ていただきたい」と言えればいい。

○ ハちきゅうクラブVでミニ集会を開くというようなPRは？

☆ それはできます。この間の「女性内閣」のような形にすればよいのですが選挙公示の直近になると新聞も扱わないでしょう。「自分たちが国会に出ればどうという国会になる」と

いうようなシンポジウムならいいんです。みんなが参加できる場をつくればいい。「ニコニコ離婚講座」のように、ふだんやっていることをやるのはいいんです。ただ、選挙のための署名を集めるとか、そういうことはできないけど。

○ 映画会とか、そういうのはいいですね。

☆ かまわないんです。

○ たとえば、そこで文書を配るのはいいんですか。

☆ 「あごろ」を配るのはかまわないんだけど。

○ 「××通信」を配るのは？

☆ 内容によるでしょうね。

○ 「××とはこういうものです」としか書いてないのは？

☆ それはかまわない。「投票してください」とか「よろしく」とか書いてなければいいんです。

○ 政党をつくって比例区に出ることにしました、というのは。

☆ それはいいんです。選挙中の文書はやかましくありませんが。

○ 明らかに投票をお願いしている文書はダメだけれど、あとはいいですね。

☆ 「自分たちの地球を取り戻そう」とか、そういう一般的なものはいいいんです。

○ それに「賛同人になってください」という文書をつけた場合はどうですか？

☆ 関係者の間だけに配るのならいいんですが、広く配布するのは問題です。

○ 「会員になってください」は？

☆ 後援会と同じ感じになるでしょうね。自発的になるというのがよいのです。

○ ミニ集会に集まった人なら、「特定の人」になるわけですね。

☆ 特定とは支持者のことです。ミニ集会はいろいろな人が参加すると思いますね。カンパボックスとか、入会申込み受付を置くのはかまわないと思いますよ。

○ 郵送する場合は、不特定ではなくて「特定」とみなされるんですね。

☆ 年賀状を交換してる人あたりならいいんです。

○ 名簿屋さんから買って来た名簿でなければいいんですね。

○ 名刺を交換した人とか……

☆ 「選挙中」は、私信でも、「ちきゅうクラブをよろしく」とだけ書くのはヤバイんですが、ことのついでに投票依頼の「よろしく」と書くのはいいんです。

○ だから、「電話番号が変わりました」とか、「子どもが小学校に上がりました」なんてハガキが、この頃よく来るんですね。

☆ 比例区は全県対象で広いでしょう。重点地区を決めてやるといいですね。

○ いま伺ったことを全部やるとなると、どれくらいの人数が要りますか。

☆ 比例区はポスター貼りがなければ、実務には最低三十人くらいいればやれるんじゃないですか。

四十七都道府県全部に事務所をおくんじゃないくて、東京中心に最低、事務管理とか運動を動かせる範囲でいえね。

○ 車を動かす人とかも含めて三十人？

☆ そうですね。ただ、車を動かす人はすごく疲れるのよ。だからローテーションをうまく組まないと。それから、慣れない人がやると、ぶっつけたり、いかれたりね……。思いもかけない渋滞にあうこともあるので、予備車を置いて置かないと。

マイクを急に借りに行ってもダメなの。何か月前でないとして機械に強い人を置いとかないと。男でも機械に弱い人もいるのね。バッテリーがきかなくなって直しているうち、バーンとバクハツしたこともあって。プラスとマイナスを間違えてたのよ（爆笑）。

☆ 選挙中にやれることに、「幕間演説」というのがあるんです。たとえばコウタローさんの演奏会に、金住さんが、「私たちは今度出ますので支援してください」と言うのはいいの。だけど、「きょうは選挙演説やりますから」って、前もって予告やっちゃダメなの。

私たちは「飛び込み演説」って言ってるんだけど、趣味の

会、——鎌倉彫りやってるとか、読書会とかに知ってる人がいて、「きょういらした金住さんは、いま選挙運動やってますので」と紹介するのはやっただんです。これは堂々と言えるの。ただ、その集まりの人の中に「不愉快だ」って受けとめる人もいる。そこが微妙。できるけれど微妙なの。

○ 得意、不得意もあるでしょうしね、そういうところのつかみ方の。

☆ 選挙中、一番いいのは電話なんですよ。いま普及率ほとんど百%でしょう。電話はお金がかかりますよ、一回十円。でも「よろしく」が効きますね。その組織的な名簿を用意しておくんですよ、選挙の前に。

だから、支援者の「××通信」に、「あなたは何かできますか」というアンケートを入れておくといんです。「お金集め」とか「応援弁士」とか、「選挙事務所の提供」、「ミニ集会の会場を探す」とか……。それは「準備行為」で認められるんです。

選挙中にできること

☆ たとえば私がスパーに言って、たまたま友人に会う。「ちょっと入れてネ」はいい。「たまたま会った人」には頼んでかまわないし、電話はいくらでもかけられるんです。

戸別訪問が禁止されているのは、日本は物を持って行く習

慣があるからですって。実際には選挙民意識を変えるのには戸別訪問が一番なんですけどね。でもたしかにこれは一理あるの。いなかで物を持って行かなかったら「票ももらって金ももらって行くのか」なんて言われるんですよね。

だから、「準備期間中にできること」「選挙期間中にできること」を箇条書きにして、刷って配ればいいわけですよ。

誰にでもできる活動を。これは一般的な政治教育ですよ。

「あごろ」誌上にのせるのはよいのです。「誰にでもできる選挙活動」みたいな一覧表をつくるというと思うんです。

○ 電話は、事前でも「よろしくね」は、いいんですか。

☆ ダメ。「××が出来たから、カンパお願い！」はいいんです。「推せん人になってね」とか「応援弁士になってね」も。

自由にできることでも、今からムードづくりできることと、完べきに事務管理しなければならないこと、金集め、を三本の柱にして作戦を練ることですね。特に事務管理はきちんとすることが大事です。

○ 帳簿さえしっかりしてれば、中曽根氏もシロになるんですものね。宮沢氏は下手だった……。

☆ あれとは全く違うがそういうことです。

○ しっかりした実務屋が絶対必要ということですね。

☆ 政治資金の場合は、選挙活動費支出はゆるやかですけどね。出入りに関してきちんと検査している機関がないんです

よ。いい加減なの。届け出ればいいって感じで。パーティー券なども、収支の実態をきちんと監査するわけじゃない。見のがしちゃうんです。選挙管理委員会に、いつさいチェック機能がないの。ただ突き合わせるだけ。私たちは、「税務署みたいに、マルサの女をつくれ」って言い続けてるんだけど。

○ 金権政治の温床が、そういう所もあるんですね。

○ 書類を受理するだけで、チェックはしないんですね。

☆ そうなの。だから政治団体の届け出は簡単よ。派閥の研究会も簡単につくれるの。けどお金集めの責任は、代表者と会計責任者だけなの。だから、たとえばコウタローさんの派閥で問題が起きて、コウタローさんは無関係になるの。やられるのは実務者だけなの。

○ 大変！

○ 派閥の長ぐるみで責任を問われるべきなのね。

☆ 比例区ですから、戸別訪問とか文書違反とかそれくらいだと思いますけど。個人選挙だともっとやかましくなります。個人選挙は、ポスターも公営揭示場にしか貼れないんです。

○ 東京の場合、何か所ですか。

☆ 一万三千くらいです。一万三千なんて簡単だと思うでしょ。でも、これが大変なの。一投票区に数か所○をつけた地図が来るの。のりバケツを持って二人組みで車で行かないと間に合わない。組織力がないと、二週間は最低かかりますよ。



○ ああ、その間に終わっちゃう(笑)。

☆ 即日貼り終わるのは共産党。区議、市議がいるし、年じゅうやってるから。これでまずアセるね。

どこかタイアップできるところがあれば、どんどんやっていけるけど。

○ いいタイアップが組めれば、比例区も地方区も両方、伸びるわけですね。

☆ 私は、参議院の政党化反対なので、比例代表制は衆議院にすべきと思っています。ただ、小さい政党に対して何か言う気はないんです。環境を守るとか、女性を進出させるとか、ゆるやかな方向性で一致するところがあれば、政党化の弊害は少ないでしょう。

比例制で実際の選挙をやってみると頭に來ますよ。既成政党に対して、いかに無力か……。もともとミニ政党を入れるような選挙制度じゃないんですもの。

○ 要するに市川さんのような方を締め出すための「改正」だったわけでしょう。

○ 吉武、衆選挙のとき、吉武さんがおっしゃったことばを思い出しますね。「戦艦大和にゴムボートで体当たり」って。○ でも、皮肉ですね。ミニ政党を締め出すために突然選挙方を変えて比例区をつくった。それで、有権者同盟などは今でも比例区反対の立場を貫いていらっしゃるわけだけど、比例区のお蔭で、ミニ政党も候補者を立てられるようになった。

今度は当選者が一挙に倍増しそうというので、また比例区をやめることになりそうだが、今度が最後だ……なんて話もありますね。

”誇り高い選挙“を貫いてほしい

○ 選挙運動中の事故に備えて保険に入るのは、活動費で落とせるのですか。

☆ 政治活動の定義はあるけれど、これくらいわからないものはないのよ。かつて政治資金の調査をしたときに、政治活動費の支出を見たまげたのね。たとえば銀座のナイトクラブで使ったとか麻雀で使ったとか、そういうのまで記載してあったの。今はさすがにそういうのは表には出さないようだけど、雑費＝保険という形にすればいいの。

○ 「選挙公示前ですのでヨロシクとは言えませんが……」という言い方はいいんですか。

☆ それは逃げ道になるでしょうね。気をつけてほしいのは、誇り高くあってほしい。土下座議員にはならないでほしい。そうすれば負けてもさわやかでしょう。誇りを捨てると市民運動にまで影響しますよ。勇気をもって、有権者の立場も忘れないこと。イヤだと思ふことはしないのね。むしろ批判の材料にして。

○ 係としては、どういう係が必要ですか。

☆ まず、会の代表。それから副代表。代表が事故があると

き代行する人。そして事務長。大きな選挙になると、事務次

長もあるといい。それから会計責任者と職務代行者。職務代行者は会計の実務をやる人、会計責任者は、それをチェックする人です。あと、政策決定のための幹事をつくっておくとい

いい。その幹事の中で、広報とか遊説とか文書とかオルグとかマスコミ担当とか分けるわけです。意外に重要なのが難用係。お茶出しがどうか、結構あります。お茶も取りに行けない時があるの。給茶器でも置いておけばいいけど、台所を見る人もいりますね。男女平等で分担すること。応援弁士の

グループとか自動車係とか、機械班とか、会場抑えとか……。最後に開票立会人が必要です。なぜならば、類似の党名を書かれた場合、これは有効だと主張する人がいる。四十七都道府県にいたほうがいいんです。これは公職ですが。

○ 政党として届け出た名前は、もう変更できないのですか。☆ 届け出たものは変更できません。耳から入りやすい名前がいいですね。紀平さんなんか大変なの。キダイラ、ノリヘイ……いろんな読み方ができるので。それで平がなで「きひら」と書いたらイメージがわかないの。漢字の国でしよう、日本は。街頭演説で、「ちぎら」と聞こえるとそう書いてしま

まう。それでも立会人が主張すれば有効になる場合があるんです。

○ 政党名の届け出は、事前審査がなくてもいいのですか。☆ 事前審査のない段階でも大丈夫です。

○ 供託金がなくてもいいのですか。

☆ 大丈夫です。

○ 似たようなのはカットになるんですか。

☆ 行政指導はしませんよ。

○ だから、緑の党、日本緑の党、緑のネットワーク、緑の連合党……ってあるんです。

○ 届け出先は？

☆ 自治省の中の中央選挙管理会です。

それと、政治資金規正法による政治団体の届け出をする。と。これは前にお話ししたとおりです。代表者などは、あとで変更することもできます。

それから簡単な規約をつくること。そして確認団体になっておかないと、邪魔が入ることがあるの。前に届け出たのは優先されるみたいですね。△緑の連合▽は△ミドレン▽で通っていますね。三年前の参院選の公示の前後の新聞の縮刷版を見るといいですよ。

それから国会図書館に行くと、「第十四回参議院通常選挙」という分析があります。誰がどのくらい取ったとか、どういう名称の党があったとか、そういう資料を自治省で毎回出します。自治省の選挙部で、前回の選挙に関する資料は、と聞くと教えて貰えます。市販はしません。

議員はみんな持っているはずですが、議員もいい加減なのよ。捨てるんです。いい資料を。私なんかゴミ屋になっちゃ

うくらい、議員会館の裏でいい資料を拾いましたよ。議事録であろうが法案であろうが捨てたの、国会が終わると。(一同) もったいない!

☆ これは市川の最後の選挙の時の記録、こちらは菅直人さんたちが市川をかつき出した時の記録です。比例区には役立たないけれど、フィリングはわかると思います。市川房枝推せん会の規約が出ていますが、こういうのでも、政治団体の届け出、政治資金規正法の届け出の何か条かになっているんです。こんな規則でもお金集めができるんです。名称、事務所、目的が明らかな規約があれば……。

それより大事なものは、選挙はもう近いからスケジュールを立てること。スケジュールで追って行かないと、時間切れになりますよ。慣れた頃に終わるんですよ。

○ そうすると、またやりたくなりますか(笑)。

☆ やり方ですね。うっかりするとポロポロになりますよ。有吉さんが応援をしてくれたことがあったでしょう。有吉さんノッチャって、「「恍惚の人」を書いた有吉です!」なんて……ノリすぎて、家に帰ると寝てたわね(笑)。終わったらいなくなっちゃったの(笑)。一週間たったら電話がかかってきて「いま京都にいるの、やっと頭が痛いのがとれた」って(笑)。以後、選挙運動はやめちゃった。それほど心身疲れたのね。

○ ふだんと違うことやるっていうのはくたびれるんですよ。

ね。

☆ 私などは、選挙というところはこのめんどろを見てくれる人がいるものだから、選挙というところ肥っちゃって、その結果がこのとおり……(爆笑)。

みのべさんも肥ったわね。大内先生が「みのべは四キロ肥った。あれは選挙で頭使わないから」だって(笑)。頭の使い場所が違うんですよ、選挙は。

○ ポイントだけ抑えておいて、あとは楽しみながらやることね。

☆ 法律ではできないことはかりだから、何もできないの! って、一時はむくれるけど、できることをくふうしてやるのが頭の使い方のよ。ご成功をお祈りします。

いま、ここぞ 田井亮子

おもい  
ことばに、

ことばを  
こえに、

わたしから  
あなたへ、

よびかけてみよう。

いま、ここぞ  
いま、ここから、

ちいさなわたしから、  
ひとあし  
ふみだしてみよう。

選挙運動でできること

### 〔公示日前〕

「選挙のための準備運動」のみ可。次の各項以外は、「事前運動」として罰される。

・届け出書類の準備（予備審査を受け、万全なものにしておく）。

・政治団体事務所の開設と届け出。

・供託金を法務省に供託（現金または国債証書に限る）。

・選挙事務所の内交渉（四十七都道府県に開設可）。

・選挙運動のための労働者の雇い入れ。

・街宣スケジュールの作成。

・ポスター、看板、立て札、提灯等の準備。

・資金集め（ただし、一万円以上のカンパは住所・氏名を明記。個人で一口一千万円、法人は資本金によるが一億円まで可。総額は上限がなく、すべて無税）。

・PRは「ヨロシク」は不可。ただし状況報告（「出馬するなど」）は可。

・定期刊行物、抜き刷り、号外などは通常の範囲なら可。後援会入会申込書やチラシ、リーフの配布は選挙直近は不可。仲間うちへの会報の発行と配布は可。政党ポスターは貼布可。

・ミニ集会、政談演説会等は可。

・Tシャツ、カレンダー等の販売は可。（選挙中も）

・一般的集会用チラシの配布は可。

・電話でのPRは不可。カンパ、推せん人、応援弁士の依頼は可。

### 〔公示日〕（今回は七月五日）

午前八時半から午後五時まで届け出を受付。

届け出を受理されると、選挙運動を開始できる。

〔選挙期間中〕（届け出受理から、投票日前日の二十四時までの十八日間）

・応援演説は可。

・立候補者の「ヨロシク」の解禁。街頭、会場等、あらゆる場所での大PRも可。

・偶然に路上やスーパー、銭湯等で会った知人に話すのは可。戸別訪問、買収は不可。

・お金集めは「準備期間中」と同様の基準で可。

・立候補者以外の「ヨロシク」は、法定ハガキ以外は不可（比例区には法定ハガキはない）ただし、私信の後に書くのは可。

・電話はこの期間は解禁。最も有効な手段。「ヨロシク」も可。

・幕間演説、飛び込み演説は可。